

ふるさと財団「地域再生マネージャー」情報

1. 基本情報

組織名・所属	本田屋本店有限会社				
役職	代表取締役社長				
氏名	本田 勝之助	ふりがな	ほんだ かつのすけ	生年月日	1974年 8月 14日
連絡先住所	〒965-0016	福島県会津若松市中島町2-52			
電話番号	0242-25-1778	メールアドレス	honda■katsunosuke.jp (■を@に変えて下さい)		


2. 経歴・取組内容、取組分野等

主な経歴・受賞歴	<p><経歴> 本田屋本店有限会社 代表取締役 株式会社ヒルサイドコネクション 代表取締役 早稲田大学政治経済学部卒業。 2004年(有)会津食のルネッサンス創業(地域の食と農業のプロデュース業)。 2006年(株)ヒルサイドコネクション創業(日本伝統産業の新規事業立ち上げ、コンサルティング)。 地域を経営するという視点で、食文化をはじめ会津地域や福島県内の食やものづくりのプロデュース事業を展開中。 2008年～09年経済産業省「につぼんE物産市プロジェクト」地域プロデューサーとし「JapanProducers Platform」立ち上げ事情に参画。 現在、地域経営を視点を会津地域の情報化事業、食と農業のプロデュース事業(代表商品 会津継承米氏郷)、地域伝統産業(京都の着物産業他)のリノベーション等の事業を展開。 2011年 NewsWeek “日本を救う中小企業100” に選ばれる。</p>					
	<p>代々青果問屋の家に生まれる4代目、父は青果卸売市場の社長・会長を経て退職、その後、父と共に肥料・生産・販売まで会津の農業を総合的にプロデュースする。地域経営を専門とし、Regional Governance System をベースとして、地域をプロデュースしていることが特徴。</p> <p>《地域経営実績》 2003年 日本経営品質協議会 審査員(当時エグゼクティブとしては世界最年少) 2005年 福島県学校経営外部評価委員(2年間) 2006年 会津若松市経営品質賞 自社(当時会長)が大賞受賞 2007～11年 学校経営品質の専門家として、文部科学省学校経営第三者評価モデル実証(2年間)(喜多方市小中学校28校対象)(福島県大玉村)</p> <p>《商品開発実績》 2006年 純米吟醸酒 雷神光(榮川酒造とのコラボレーション) 会津継承米 氏郷の商品開発(海外展開も) 2010年 緋の衣・国光・紅玉 レトロ3兄弟のジュース開発 他多数</p> <p>《飲食店・レストラン・ホテルプロデュース、立ち上げ、運営実績》 2004年 おにぎり店、郡山「雷神光」プロデュース立ち上げ運営(5年間) 2007年 東京ミッドタウン 米処 雷神光 プロデュース 2008年 東山温泉 かつろぎ宿 メインダイニングレストランのプロデュース 2009年 イタリアンレストラン「フロイデ」コンセプト設計から内装設計、人の調達、メニュー等々の全体プロデュース 2010年 裏磐梯ホテル ホテルリアルト プロデュース</p> <p>《地域コミュニティ創造・運営実績》 2005年 会津スローフードの会事務局長(生産者・加工会社・飲食店・地域テレビ局新聞社のコミュニティ) 2008年 お裾分けプロジェクトの会 会長(会津地域17市町村の生産者、加工会社等の連携による付加価値化や商談会などを行う) 2008年 緋の衣ブランド化推進実行委員会 委員長(生産農家・加工会社等のコミュニティで商品開発やツアー企画、連携活動を行う) 2013年 会津若松市スマートシティ推進協議会 事務局長</p> <p>《他地域の地域ブランド都市ブランド立ち上げ実績》 2012年 三重県全県の食品・クラフト産品開発支援とアンテナショップコンセプトメイク。 2013～2014年 北海道岩手地域(4ヶ町村)、新潟県上越市・十日町市、茨城県東海村、福井県嶺南地域(6市町)全体ブランディング、三重県デザイナーコラボ産品開発支援、広島県福山市「都市ブランド戦略全体の構築事業」、等他多数。 2014年 ふるさと納税の仕組みを地域の持続可能な振興戦略に活かすアドバイス・コンサルティングを全国で実施。</p>					
取組分野	<input type="radio"/>	1	観光振興	<input type="radio"/>	7	住民参加・協働
	<input type="radio"/>	2	産業振興	<input type="radio"/>	8	イベント交流
	<input type="radio"/>	3	過疎地域・限界集落の振興	<input type="radio"/>	9	食品流通
	<input type="radio"/>	4	中心市街地活性化	<input type="radio"/>	10	環境
	<input type="radio"/>	5	まちづくり景観	<input type="radio"/>	11	NPO・ボランティア
	<input type="radio"/>	6	農林水産品の開発・ブランド化	<input type="radio"/>	12	その他()

3. 関連ホームページ	
名称	アドレス
ヒルサイドコネクション	hillsideconnection.jp
会津継承米	keisyoumai.com
勝之助. Jp	katsunosuke.jp

4. ふるさと財団での実績	
地域再生ジャー	<ul style="list-style-type: none"> ◆2013年度 新潟県上越市 「北陸新幹線開業に向けた特産品開発支援事業」 ◆2014年度 新潟県十日町市 「地域商社新商品開発プロジェクト事業」 ◆2015年度 山形県長井市 「ながいシティプロモーション推進事業」 ◆2015年度 福井県高浜町 「6次産業振興型 城山ライフスタイル」魅力向上プロジェクト」
地域再生講師	
環境整備型	◆2013年度 新潟県十日町市
初期対応型	

5. 財団報告書	
名称	アドレス
平成25年度 新・地域再生マネージャー事業	http://www.furusato-zaidan.or.jp/news/H25jchiikisaisei-jigyohoukokusyo.pdf
平成26年度 新・地域再生マネージャー事業	http://www.furusato-zaidan.or.jp/H26jigyohoukokusyo.pdf
平成27年度 新・地域再生マネージャー事業	http://www.furusato-zaidan.or.jp/H27jigyohoukokusyo.pdf

6. 写真・ひとことPR	
	<p><ひとことPR></p> <p>地域の課題は、様々な分野をまたぐ連携をもって取り組まなければ解決できないものが増えている。地域ブランドも、地域内の生活領域にある食や医療、福祉、ICT含め生活に根差したところから創造され続ける仕組みにしなければ一過性のものに終わってしまう。</p> <p>取り扱う領域の広さとその相互の戦略連携を「ブランド」という外部価値視点で構築推進することが今や自分にオファーされる地域要望の殆どを占めてきている。</p> <p>また、昨今のふるさと納税は、地域の持続可能な成長モデルに活かせる仕組みに由来するとその相談やコンサルティング業務が増えている。</p> <p>地域改題の解決と共に、日本における地域の先進モデルを作り続けるプロフェッショナルとしてこの世界の第一線を走り続けたいと思っています。</p>